

開成町 地域支えあい活動

～ おたがいさまで支えあう “やさしいまちづくり” ～



開成町地域支えあい活動 QRコード

みなさん、こんにちは。

開成町でもあじさいの美しい時期が過ぎ、暑さが厳しくなってきましたね。今年は残念ながらあじさい祭りも行えませんでした。開成町のいたるところできれいなあじさいを見かけましたね。しかし依然として、新型コロナウイルスの影響で地域活動が例年のようにはいかない現状が続いています。ただこんな時期だからこそ、地域でできることはないかと新しい地域の支えあいの形を模索する地域もありました。また今後も継続して地域支えあい活動について、密接にならず頻度を減らした形で行っていく手段を絶えず模索していく必要があると感じます。今回はそんな地域の支えあい活動をいくつかご紹介したいと思います。

開成町地域支えあい活動の生活支援コーディネーター 水野です。



生活支援コーディネーターは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように、地域の特性や高齢者の生活課題(困りごと)を把握し、サービスの開発や担い手開発・育成・ネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。

牛島自治会… 福祉部の活動&牛島永楽会

定期的に行われていた牛島自治会の福祉部主催のサロン活動ですが、この新型コロナ感染拡大の影響で中止となっていました。そこで部員さんたちが高齢者の方に自宅で取り組める脳トレや体操のプリントと一緒に配布されたとのことでした。今後も終息状況を確認しつつ、月1回ペースで配布を予定されているとのこと。また5月号では福祉部員のステイホームの近況を添えた内容も掲



載したそうです。

さらに牛島永楽会の活動でも、計画していたお茶会や愛好会などの集まりが中止になりましたが、会員の方々に体力維持を図るためにいくつかの体操の紹介プリントを配布したとのことでした。



こんな状況だからこそ、人と人がつながっていると感じられることは心の健康を保つためにも必要なことなのだと思います。

社協の生活支援コーディネーターと「つぶやき交換日記」始めませんか？

新型コロナウイルスの影の中で、人と会わずに交流することの難しさを年齢問わず感じた方は多いと思います。電話やメールをするまでにはいかないけれど、ちょっと人に話したいこと、ってありませんでしたか？

ツイッターやFacebookを利用されている方も多いとは思いますが、PCやスマホを利用したリモートで交流、というものも一般化してきました。



ただ今回募集するこの「つぶやき交換日記」は、かなりアナログです。ノートやメールで日頃のつぶやきを書いていただき社協の水野宛に送っていただくものです。活用の仕方は人それぞれ、老化の予防としてもよし、楽しみを増やす目的としてもよし、誰かとつながるためでもよし、社会とつながるためでもよし。書かれた内容は口外いたしません。

たくさんの方からの「つぶやき交換日記」お待ちしております。

★基本内容

- ・開成町民のかた
- ・つぶやきの内容は自由です。
- ・お返事内容は短文になります。
- ・返信までの期間は1～2週間です。

★方法

- ①まずは手紙やノート、メールでつぶやきを書いてください。
 - ②社協の水野宛に郵送・社協まで持参・メールを送ってください。
- ※手紙や持参の方はご住所をお書きください。

「つぶやき交換日記」ボランティアさんも同時募集中

◇宛先◇ 〒258-0021 開成町吉田島 1043-1
開成町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター 水野宛
Mail / network@kaiseishakyo.jp